

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第20週[5月16日～5月22日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/
E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

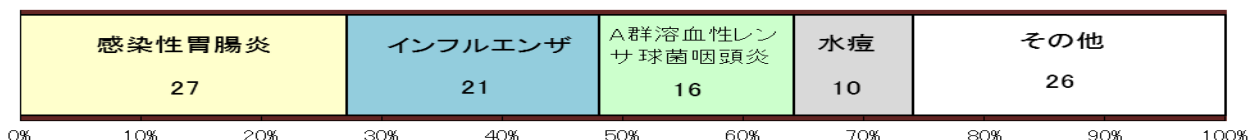
県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- ・ 日中は晴れて気温も上昇したが、朝晩は気温が低く肌寒く感じられた。
- ・ **感染性胃腸炎**は安芸と中央東で増加したが、その他の地域で減少し、総数はさらに減少した。
- ・ **インフルエンザ**は全ての地域で減少し、総数はさらに半減した。今後も減少傾向が続くと思われる。
- ・ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**（幡多：注意報→注意報，高知市：注意報，高幡：警報→注意報）は高知市，幡多，中央東で増加し，総数は前週に引き続き増加した。
- ・ **水痘**は前週報告数の多かった高幡と幡多で大幅に減少し，総数は前週の約7割に減少した。

上位疾患構成図



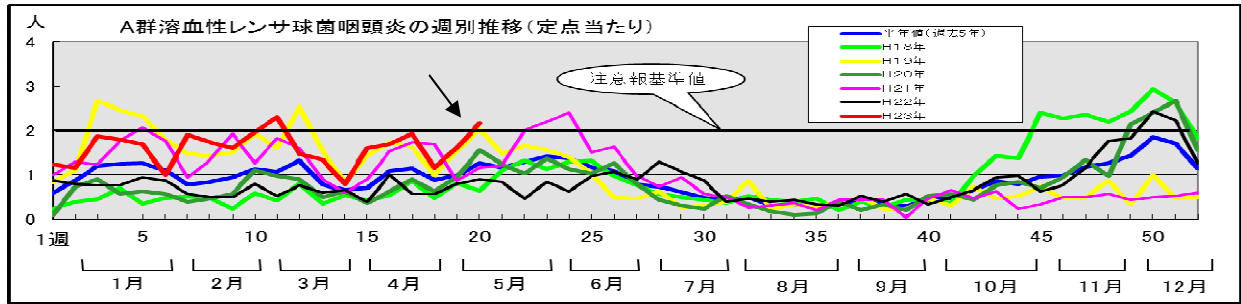
地域別感染症注意報・警報発生状況

第20報（2011年5月16日～2011年5月22日）



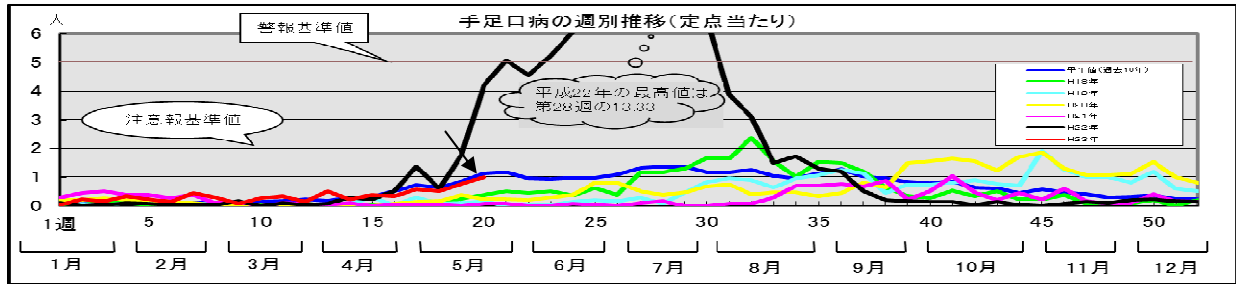
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：今週 2.17（注意報値：2.00 警報値：4.00）

総数は引き続き増加し，注意報値を超した。地域毎にみると，幡多，高知市，高幡で注意報値を超している。年齢別では，5歳を中心に3～7歳からの報告が多い。突然の発熱，咽頭痛（発赤），莓舌などの症状で，例年6月頃までは流行がみられており，もうしばらくは注意が必要である。予防としては，患者との濃厚接触をさけることが最も重要であり，うがい，手洗いなどの一般的な予防法も励行する。



手足口病：今週 1.00 （注意報値：2.00 警報値：5.00）

2週続けて報告数が増加している。年齢別では、0～4歳から報告があり、1歳が最も多く約半数を占めている。昨年は警報値を大きく超える流行（最高値13.33）となった。今年は昨年には及ばないが、例年と比較して流行の立ち上がりが早く、今後の推移が注目される。



検査情報

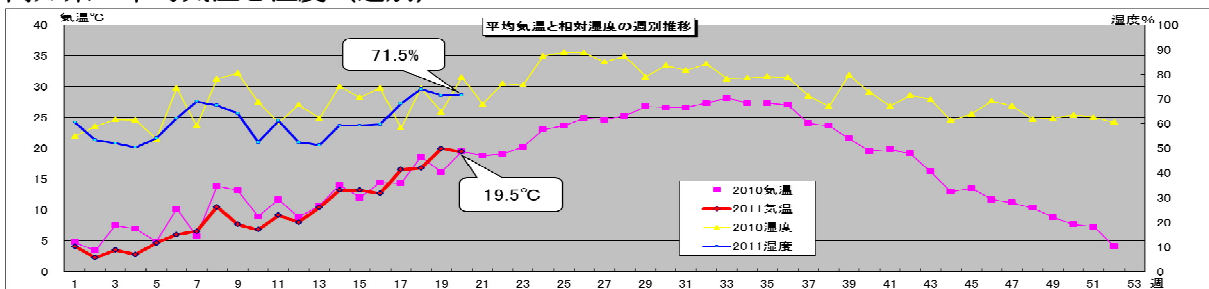
週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
7	手足口病	1歳 女	高 幡	Other paramyxovirus
20	インフルエンザ	34歳 女	高 幡	Influenza virus B NT
20	インフルエンザ	37歳 女	高 幡	Influenza virus B NT
20	インフルエンザ	37歳 男	高 幡	Influenza virus B NT
20	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8歳 男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 4例（80代男，70代女）《高知市》（80代男）《中央東》（80代女）《中央西》（今年53例）

4類感染症：レジオネラ症 1例（80代男）《高知市》（今年4例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性

《さたけ小児科》：インフルエンザの3例中2例はA型陽性，1例はB型陽性

ヘルペス性歯肉口内炎 1例（7歳女） マイコプラズマ感染症 3例（4歳男女，7歳女）

《大井田病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性

《渭南病院小児科》：マイコプラズマ感染症 1例（16歳女）

《松谷内科》：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1例（37歳女）は迅速キット陽性

高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの7例は全てB型陽性，予防接種歴ありは1例

《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの1例はA型陽性

中央西：

《石黒小児科》：単純ヘルペス 1例（50歳女）

《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（1歳男）は県外から帰省
《日高クリニック》：インフルエンザの1例は臨床診断 マイコプラズマ肺炎 1例（16歳女）
《高北病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

高知市：

《細木病院小児科》：インフルエンザの1例はA型陽性
《福井小児科内科》：インフルエンザの2例はB型陽性、1例は予防接種歴あり
《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの17例は全てB型陽性、予防接種歴ありは3例
《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの3例はB型陽性
《高知医療センター小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性、予防接種歴ありは1例
《近森病院内科》：インフルエンザの4例中3例はB型陽性、予防接種歴ありは1例

中央東：

《高知大学医学部付属病院小児科》：アデノウイルス陽性 1例（2歳男）
《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの1例はB型陽性
《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの4例はB型陽性 マイコプラズマ肺炎 1例（31歳女）
《早明浦病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナが増加中
《いちほら内科小児科》：インフルエンザの3例はB型陽性

安芸：

《田野病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性、予防接種歴あり1例

全国情報第17週（4/25～5/1）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核300例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症24例（有症者20例、うちHUS 6例）

4類感染症：A型肝炎2例、つつが虫病2例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症6例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢6例、ウイルス性肝炎（B型）1例、急性脳炎3例、後天性免疫不全症候群14例（AIDS 9例、無症候5例）、ジアルジア症1例、梅毒6例、破傷風3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん7例、麻しん30例

報告遅れ：エキノкокクス症1例、レジオネラ症1例、急性脳炎5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、風しん2例

全国情報第18週（5/2～5/8）

2類感染症：結核160例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症43例（有症者27例、うちHUS 4例）、腸チフス1例

4類感染症：A型肝炎3例、つつが虫病1例、レジオネラ症9例

5類感染症：アメーバ赤痢3例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群3例（AIDS 2例、無症候1例）、梅毒3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん4例、麻しん15例

報告遅れ：急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、髄膜炎菌性髄膜炎1例

◆麻疹ウイルス2011年（2011年5月12日現在報告分）

2011年1～5月に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、岡山県、広島県、香川県、福岡県の10都府県から81件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されている。

未型別：4月東京都1件、D4型：1月1件、3月1件、4月36件、5月5件、計43件、D8型：3月4件、4月1件、計5件、D9型：1月12件、2月9件、3月2件、4月4件、5月2件、計29件、G3型：2月千葉県1件、A型（ワクチンタイプ）：1月2件

麻疹ウイルス検出例の年齢は1歳をピークに0～4歳が最も多いが、20～40代の成人が41%を占めており、子供も成人も麻疹に注意が必要である。

◆インフルエンザウイルス2010/11シーズン

2010/11シーズンにはAH1pdmが全都道府県から6,142件、AH3亜型が全都道府県から3,512件、B型はビクトリア系統株が41都道府県から1,016件、山形系統株が12道県から27件、系統不明株が29都道府県から308件報告されている。

直近の2011年第14～18週の5週間ではAH1pdmが5都県から6件（高知県2件、青森県、東京都、神奈川県、静岡県各1件）、AH3亜型が28都道府県から136件（和歌山県14件、山形県13件、兵庫県12件、秋田県、愛媛県各9件、東京都8件、新潟県、島根県各7件、高知県、沖縄県各6件など）、B型はビクトリア系統株が20道府県から122件（長野県27件、福井県22件、山形県15件、神奈川県12件、兵庫県10件、北海道、群馬県、大阪府、島根県各4件など）、山形系統株が2県から3件（神奈川県2件、兵庫県1件）、系統不明株が13都県から97件（兵庫県18件、東京都15件、沖縄県11件、青森県、静岡県各10件、奈良県9件、和歌山県8件、熊本県5件など）報告されている。B型（222件）が分離・検出例全体（364件）の61%、AH3亜型（136件）が37%を占め、AH1pdm（6件）は2%を占めている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(19週)	高知県(20週末累計) H23/1/3~H23/5/22
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	3	20	42	2	9	8	84 (1.75)	157 (3.27)	9,675 (1.97)	12,233 (254.85)
小児科	咽頭結膜熱		2	1			1	4 (0.13)	1 (0.03)	1,387 (0.44)	131 (4.37)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	32	2	5	17	65 (2.17)	48 (1.60)	6,695 (2.14)	961 (32.03)
	感染性胃腸炎	12	24	48	9	6	10	109 (3.63)	138 (4.60)	20,791 (6.63)	5,303 (176.77)
	水痘	2	9	16	4	1	8	40 (1.33)	58 (1.93)	6,365 (2.03)	1,035 (34.50)
	手足口病	3	1	17	3	3	3	30 (1.00)	23 (0.77)	960 (0.31)	208 (6.93)
	伝染性紅斑		3	8			1	12 (0.40)	17 (0.57)	2,459 (0.78)	149 (4.97)
	突発性発疹		6	10	1	3		20 (0.67)	17 (0.57)	1,892 (0.60)	260 (8.67)
	百日咳								1 (0.03)	68 (0.02)	9 (0.30)
	ヘルパンギーナ	5	3	7	1			16 (0.53)	16 (0.53)	339 (0.11)	76 (2.53)
	流行性耳下腺炎			6	2		7	15 (0.50)	7 (0.23)	2,980 (0.95)	139 (4.63)
	RSウイルス感染症		1	1	1			3 (0.10)		341 (0.11)	557 (18.57)
眼科	急性出血性結膜炎									25 (0.04)	(0.00)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	1 (0.33)	485 (0.72)	19 (6.33)
基幹	細菌性髄膜炎								1 (0.14)	11 (0.02)	2 (0.29)
	無菌性髄膜炎									12 (0.03)	9 (1.29)
	マイコプラズマ肺炎			2				2 (0.29)	1 (0.14)	164 (0.36)	35 (5.00)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									10 (0.02)	2 (0.29)
計 (小児科定点当たり人数)		25 (11.75)	78 (10.10)	192 (15.90)	25 (8.07)	27 (11.25)	55 (10.40)	402 (12.22)			
前週 (小児科定点当たり人数)		23 (8.75)	75 (9.16)	210 (17.11)	42 (11.60)	70 (29.50)	66 (12.00)		486 (14.14)	54,659	21,128 (549.12)

定点当たり

第20週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(19週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	0.75	1.82	2.63	0.40	2.25	1.00	1.75	3.27	1.97
小児科	咽頭結膜熱		0.29	0.09			0.20	0.13	0.03	0.44
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.29	2.91	0.67	2.50	3.40	2.17	1.60	2.14
	感染性胃腸炎	6.00	3.43	4.36	3.00	3.00	2.00	3.63	4.60	6.63
	水痘	1.00	1.29	1.45	1.33	0.50	1.60	1.33	1.93	2.03
	手足口病	1.50	0.14	1.55	1.00	1.50	0.60	1.00	0.77	0.31
	伝染性紅斑		0.43	0.73			0.20	0.40	0.57	0.78
	突発性発疹		0.86	0.91	0.33	1.50		0.67	0.57	0.60
	百日咳								0.03	0.02
	ヘルパンギーナ	2.50	0.43	0.64	0.33			0.53	0.53	0.11
	流行性耳下腺炎			0.55	0.67		1.40	0.50	0.23	0.95
	RSウイルス感染症		0.14	0.09	0.33			0.10		0.11
眼科	急性出血性結膜炎									0.04
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	0.33	0.72
基幹	細菌性髄膜炎								0.14	0.02
	無菌性髄膜炎									0.03
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.29	0.14	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02
計 (小児科定点当たり人数)		11.75	10.10	15.90	8.07	11.25	10.40	12.22		
前週 (小児科定点当たり人数)		8.75	9.16	17.11	11.60	29.50	12.00		14.14	

2011年週報推移(定点当たり)

